2020年2月26日

各　　位

会　社　名　リファインバース株式会社
住　　所　東京都中央区日本橋人形町三丁目10番1号
代表者名　代表取締役社長　越　智　　晶
（コード番号：6531）
問い合わせ先　財務経理部長　北　垣　栄　一
TEL. 03-5643-7890

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○　開催状況

開催日時	2020年2月25日（火）　15：30～16：30
開催方法	対面による実開催
開催場所	公益社団法人日本証券アナリスト協会　第2セミナールーム 東京都中央区日本橋兜町3－3　兜町平和ビル2F
説明会資料名	2020年6月期第2四半期決算説明会資料

【添付資料】
1．投資説明会において使用した資料

以　上

2020年6月期
第2四半期決算説明資料

リファインバース株式会社
（東証マザーズ：６５３１）

日本を、資源大国にしよう。
REFINVERSE

2020年2月

2020年6月期第2四半期決算トピックス

日本を、資源大国にしよう。
REFINVERSE

これまで先行投資してきていた新規事業案件が収益貢献し始め8四半期ぶりに四半期ベースで連結黒字化。
SDG'sや海洋プラ問題など当社事業領域において国内企業の取組みが本格化。事業開発力を強化し成長を加速させる。

①業績

- ✓ CTR事業は1Qの台風などの負の影響がなくなり黒字転換。
- ✓ 産廃処理事業はオペレーションの効率化や受注件数の増加などにより堅調に推移。
- ✓ 高機能樹脂事業は計画よりも遅れて進捗しており収益についてはマイナス貢献。下期以降でのプラスの収益貢献が見込まれる状況。
- ✓ 今期から開始したソリューション事業での大型プラント販売により収益に大きく貢献。

②新規事業

- ✓ ソリューション事業でプラント販売を実現し収益に大きく貢献。またコンサルティング案件の受託など収益機会が多様化している。
- ✓ 高機能樹脂事業ではアパレル業界を中心に廃漁網由来のナイロンに対する引合いが急増しており、今後の大きな成長が期待できる状況となっている。
- ✓ 国内外の多数の企業から廃プラ問題に対する取組みについて引合いが増えており、当社の強みを活かした協業案件を検討中。

③課題

- ✓ 事業開発力の強化とソリューション事業による収益多様化のために様々なバックグラウンドを持つ優秀な人材の採用を強化。
- ✓ 事業初年度となる一宮工場の稼働率アップによる再生ナイロンの生産量を増加させることが課題。

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

連結損益計算書

グループ各事業の収益管理及びコーポレート機能強化を目的として導入した事業部制が機能し業績向上に貢献。
2019年10～12月の第２四半期期間では黒字となるものの、第１四半期のマイナスを取り戻すに至らず。

（単位：百万円）

	2019年6月期2Q		2020年6月期2Q				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	増減コメント
売上高	1,235	100.0%	1,552	100.0%	125.6%	316	産廃処理事業は堅調に推移 大型プラント販売が大きく貢献
売上総利益	225	18.2%	336	21.7%	149.4%	111	産廃処理事業はオペレーションの効率化による利益率up 高機能樹脂事業のマイナス貢献
販売管理費	364	29.5%	372	24.0%	102.2%	8	
営業利益	△138	△11.2%	△35	△2.3%	—	103	2019年10～12月の第２四半期期間では黒字となるものの、第１四半期のマイナスを取り戻すに至らず
経常利益	△152	△12.4%	△55	△3.6%	—	97	借入金支払利息負担
四半期純利益	△137	△11.1%	△56	△3.6%	—	80	

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

セグメント情報

再生処理事業は製鋼副資材の売上が堅調、大型プラント販売が大きく貢献。一方、高機能樹脂事業ではマイナス貢献。
産廃処理事業は受注は堅調に推移。

（単位：百万円）

	2019年6月期2Q		2020年6月期2Q				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	増減コメント
再生樹脂事業							
売上高	387	100.0%	660	100.0%	170.4%	272	需要堅調により増収 大型プラント販売が大きく貢献
セグメント利益・損失(△)	△86	△22.4%	△61	△9.4%	—	24	2Qで黒字転換するものの1Qマイナスを取り戻せず
産廃処理事業							
売上高	854	100.0%	900	100.0%	105.3%	45	受託件数増など堅調
セグメント利益・損失(△)	73	8.6%	174	19.4%	137.8%	100	新基幹システム導入によるオペレーション効率化、管理コストの削減
全社							
全社費用	121		144		119.5%	23	

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

連結貸借対照表

短期借入金の増加。CTR事業部、高機能樹脂事業部の稼働率アップのための設備投資を実施。

	2019年6月末	2019年12月末	増減額
流動資産	1,110	1,059	△51
現金及び預金	401	375	△26
受取手形及び売掛金	347	514	167
その他	360	169	△191
固定資産	1,944	1,935	△8
有形固定資産	1,644	1,638	△6
無形固定資産	14	14	0
投資その他の資産	285	282	△3
繰延資産	58	49	△9
開業費	58	49	△9
資産合計	3,113	3,044	△68
流動負債	843	860	17
支払手形及び買掛金	175	47	△127
短期借入金	―	100	100
１年内返済予定長期借入金	319	329	9
その他の流動負債	348	383	34
固定負債	1,664	1,633	△30
長期借入金	1,359	1,347	△11
その他の固定負債	305	286	△19
負債合計	2,508	2,494	△13
純資産	604	549	△54
負債純資産合計	3,113	3,044	△68

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

2020年6月期業績予想

日本を、資源大国にしよう。
REFINVERSE

上場以来継続してきた新規事業投資の成果が今期より得られる見込み。
再生樹脂事業の大幅な増収増益及び産廃事業の収益力回復などにより大幅な増収・増益見込み。

（単位：百万円）	2019年6月期実績 金額	構成比	2020年6月期予想 金額	構成比	前期比	増減額	«ご参考情報» 2020年6月期（第2四半期累計実績） 金額	構成比
売上高	2,526	100.0%	3,633	100.0%	143.8%	1,107	1,552	100.0%
売上総利益	454	18.0%	1,098	30.2%	241.6%	643	336	21.7%
営業利益	△255	△10.1%	306	8.4%	—	561	△35	△2.3%
経常利益	△289	△11.5%	276	7.6%	—	565	△55	△3.6%
当期純利益	△343	△13.6%	226	6.2%	—	569	△56	△3.6%

前提条件

再生樹脂製造販売事業

- ✓ 原料受入拡大と処理費用単価アップによる売上増
- ✓ ナイロンリサイクル事業の収益化
- ✓ ソリューションビジネス立上げによる新事業領域への拡大

産業廃棄物処理事業

- ✓ マンション等のリフォーム・リノベーション案件受注増による成長
- ✓ 基幹システムの活用による社内管理コスト低減と顧客サービスレベル向上

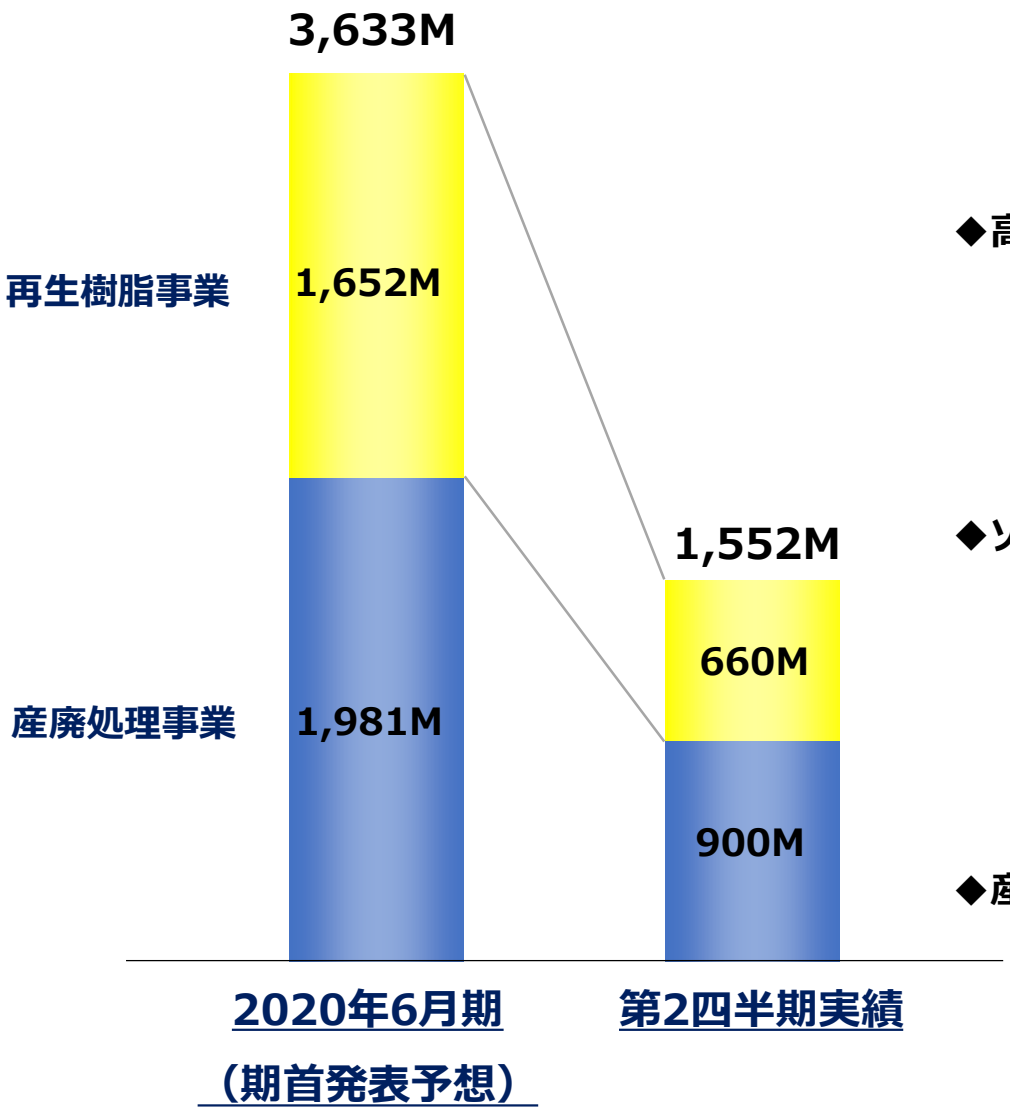
全般

- ✓ 監査法人の交代による、監査報酬低減と内部統制強化
- ✓ 管理体制強化及びソリューションビジネス牽引による人件費増

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

売上進捗状況

各事業とも前年比では売上は伸びているものの計画比では進捗遅れの状況。
特に新規立上げとなる高機能樹脂事業の一宮工場製品の売上未達影響が大きいが3Q以降でのリカバリーを狙う。



◆CTR事業（カーペットリサイクル）
- ✓ 台風影響等により売上進捗は若干遅れ気味。
- ✓ 製鋼副資材は売上好調を維持。
- ✓ 富津工場の生産性が向上し収益力は高まっている。

◆高機能樹脂事業
- ✓ 一宮工場の立上げ初期の課題を着実に解決中。
- ✓ 想定よりも製品の顧客評価に時間を要しているため売上計上が遅れ。
- ✓ 第4四半期以降で大きな売上計上を目指し進捗遅れ分を含めてリカバリーを狙う。

◆ソリューション事業
- ✓ 製鋼副資材等の製造プラント販売において大型案件クローズ。2Qで収益計上し売上貢献。
- ✓ その他進行中の設備販売案件が今期中にクローズ出来れば当初見込み通り。
- ✓ 新規コンサル案件の受託など来期以降の成長のための案件が増加中。

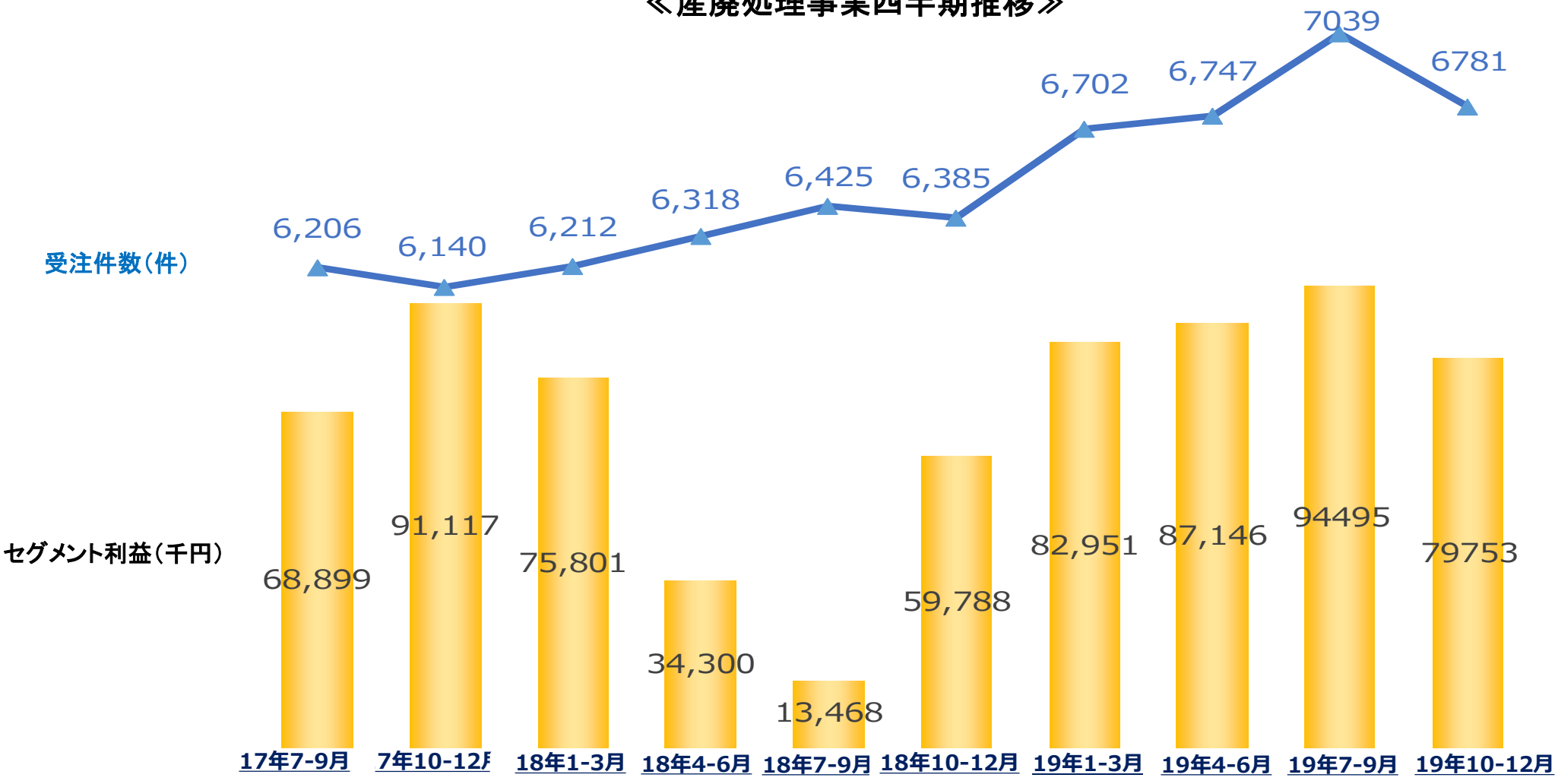
◆産廃処理事業
- ✓ 産廃処理受託は件数・売上ともに想定通りの進捗し、利益ベースでは想定通りの進捗。
- ✓ 産廃処理受託に現場リソースを優先したたため解体工事案件が減少。利益面での影響は限定的。

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

産廃処理事業の業績動向

堅調な受注状況は維持しており安定的な収益力を確保。当四半期は更なる受注増を見据えて現場人員の増強などを積極的に行ったことなどが影響。人手不足の状況下でも採用は予定通り実行でき、今後の受注増のための体制作りは完了。

≪産廃処理事業四半期推移≫



Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

ソリューション事業の状況

廃プラ排出事業者に廃プラの有効利用・処理費削減方法の検討・提案から実行・フォローまでの一連のプロセスで収益機会を構築。既に複数案件で実績が出ており、検討中案件も多数あり今後の収益貢献に期待。

実行済
進捗中
構想中

	検討・開発フェーズ（Feeビジネス）	実行フェーズ（設備・プラントビジネス）	継続フェーズ（トレード/ライセンスビジネス）
	顧客から発生する廃棄物の最適処理に関するコンサルや、開発・試作等によるFeeビジネス	廃棄物処理費の圧縮や再資源化のための設備・プラントの設計開発・販売	当社指定の形状や配合等で製造した製品の販売あるいはライセンス収入
案件A 製鋼副資材関連		製造プラント販売	ライセンス収入
案件B 金属系リサイクル	特殊金属リサイクル事業に関するコンサルティング		再生特殊金属販売
案件C 廃プラリサイクル	廃プラリサイクルに関する調査・コンサルティング	プラント販売	再生製品販売 ライセンス収入
その他 複数	廃プラリサイクル・処理費削減に関する調査・開発支援	プラント販売	再生製品販売 ライセンス収入

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

会社概要

会　社　名	：	リファインバース株式会社
資　本　金	：	439,219千円　（2019年12月31日現在）
設　　立	：	2003年12月
所　在　地	：	本社　東京都中央区日本橋人形町3-10-1 千葉工場　千葉県八千代市大和田新田672-4 リファインバースイノベーションセンター　千葉県富津市新富52-3 一宮工場　愛知県一宮市起字与三ケ巻37
取　締　役	：	越智晶　代表取締役社長（リファインマテリアル㈱代表取締役社長） 加志村竜彦　常務取締役　事業開発部長 兼 CTR事業部長 瀧澤陵　取締役　人事総務部長 柏村順也　取締役　事業開発部 研究開発部長 青木卓　取締役　経営企画室長 兼 産廃事業部長（ ㈱ジーエムエス代表取締役社長） 堀内賢一　取締役　最高技術責任者 鮫島卓　社外取締役 関口修一　社外取締役 布施木孝叔　社外取締役
従　業　員	：	146名(グループ全体)
グループ企業	：	株式会社ジーエムエス、リファインマテリアル株式会社

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

Copyright© Refinverse,Inc.All rights reserved.